

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/>メール chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

平成23年12月22日

生まれてきてくれて ありがとう

校長 小林 啓一

10月28日、鈴木せい子先生による「いのちの授業」が行われました。先生は、1000人以上の赤ちゃんを取り上げてきたベテランの助産師で、全国各地に出向き、「いのち」が誕生する瞬間の感動を通じて、「生まれてくること」のすごさ、「生きていること」の素晴らしさを伝えています。子どもの自己肯定感を高め、おうちの方の子どもへの愛情を高める、「いのち」の現場からのメッセージは大きな反響を呼び、今までに参加した人は10数万人に上るそうです。新井中央小学校の授業には、4年生とおうちの方など約160人が参加しました。

「助産師は、赤ちゃんが生まれるときにお手伝いをするんだよ」と紹介された後、受精から出産までを分かりやすく説明してくださいました。小さな穴を空けた紙片や綿球、形や重さを精密に再現した3、5、8か月と出産直前の胎児人形を使い、「とっても小さな受精卵が10か月で2000倍に成長したんだよ」と話されると、子どもたちから驚きの声が上がりました。

また、8か月の妊婦さんに御協力いただき、胎児の心音を聞かせてもらいました。「2000倍の大きさになるために、赤ちゃんはみんなが走り続けているぐらいの速さ、毎分150回の速さで心臓を一生懸命動かして、がんばっているんだよ。みんなもそうだったんだよ」という先生のお話、妊婦さんの「一日一日大きくなっていて、生まれてくるのがとても楽しみです」と赤ちゃんへの思いを語る言葉が、子どもたちの心に染み入っていくのが分かりました。

その後、大きな子宮模型を使った赤ちゃんが生まれてくる様子の再現、自作のDVD「生まれてきてくれて ありがとう」を見ました。感動している子どもたちに、先生は「お母さんやお父さんもがんばったけど、赤ちゃん自身も、とってもがんばったんだよ。みんなもこうやって生まれてきたんだよ。だから、自分のことを褒めてやって。生まれてくることって、すごいこと。生きていることって、素晴らしいことなんだよ」とお話されました。

最後に、子どもたちに、「いのちのはじまりの大きさ」のカード、「生きているだけで、百点満点」「誕生日はいのちの記念日」という言葉を贈ってくださいました。

ハンカチで目元を押さえている方が大勢おられました。私も熱いものがこみ上げてきました。子どもたちやおうちの方からの感想を見せてもらいました。お話に感動したこと、おうちでもお話をされたことが書かれていました。子どもとおうちの方の感想の一部を紹介します。

「私もすごくがんばって生まれてきて、みんなの願いや気持ちが込められた人間なんだあと思い、自分を大切にしたいと思いました。家に帰ってから、へその緒を見せてもらいました。私も、お母さんとおつながっているんだなあと思いました。」

「子どもが生まれた時のことを思い出して、あの時の『感動』がかけがえのないものだと思えて感じました。『生きているだけで百点満点』、本当に『生きているだけで』私たち家族は幸せなんだと実感しました。そのことに改めて気付かせてもらった講演会でした。」

東日本大震災で多くの方が亡くなられた平成23年、命の重み、絆の大切さを改めて感じながら、来る年が幸多かれと願っています。

かがやいた2学期ダイジェスト

今年の秋は比較的過ごしやすく、各学年での学習活動や行事も充実し、子どもたちにとって実りの秋になりました。今、学校では皆様から回答していただいたアンケートをもとに新年度の準備をしております。様々な課題がありますが、皆様の評価や声をもとに改善に取り組んで行きます。なお、アンケートの結果については、3学期にお知らせします。よろしく願いいたします。



○9月11日（日）、合唱部が、防災シンポジウムのエンディングで、「OMOIYARI（おもいやり）のうた」を、新井小学校の合唱部のみなさんと一緒に歌いました。



○9月19日（月）、第6回中央小っ子カップ球技大会が行われました。ソフトバレーボール8チーム、ソフトボール6チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。



○9月26日（月）、第7回妙高市小学校親善陸上大会が、好天の下、新井総合運動公園陸上競技場で行われました。学校からは、5、6年生が参加し、100m、80mハードル、200m、800m、1500m、走り高跳び、走り幅跳び、ソフトボール投げの各種目で、これまでの練習の成果を発揮しました。応援も素晴らしく、大きな声援に後押しされて、リレーで4種目の内3種目で優勝するなど大活躍でした。





○ 10月12日（水）、上越文化会館大ホールで、第41回上越管楽器フェスティバルが行われ、新井中央小学校の吹奏楽部57名が参加しました。今年は、上越地区 18校の参加で、「広げよう なかま 夢」をテーマに交歓演奏をしました。新井中央小学校は、13番目で、「GO GO ブラス!」「ウィーアー」の2曲を演奏しました。

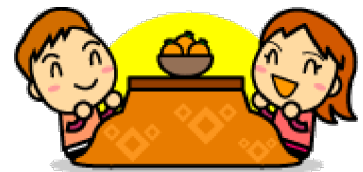
○10月3日（月）、青空の中、マラソン大会を行いました。距離は、高学年が約2100m、中学年が約1600m、低学年が約900mでした。家でも練習した児童が多く、たくさんの新記録が出ました。



親子のコミュニケーションを大切に

年末年始、家族で過ごす時間が増えるかと思えます。その前に、大人・親の立場として子どもとのやりとりはうまくいっているか、チェックしてみましょう。

- 疲れて帰っても、元気よく「ただいま」と声をかけているか
- 近所の人に自分から挨拶しているか
- 1日1回、家族と会話の時間を設けているか
- 「ダメ」と言う前に、理由を説明しているか
- 自分ひとり、喋っていないか
- 親として、自分の気持ちを正直に伝えているか
- 妻から相談された場合、面倒がらずに相談相手になっているか
- 学校や先生の悪口を子どもの前で言っていないか
- 忙しくて話が聞けないとき、「あっちに行ってなさい」と、追い払っていないか
- 言葉だけでなく、奥にある子どもの気持ちを聞き取れているか
- 家族で決めたルールを子どもが破ったとき、厳しく叱っているか
- できないことを叱るより、できたところをほめているか
- 子どもに意見を言うように促しているか
- いじめにあったとき、「いつでもお前の味方だよ」と、子どもを支えているか
- 勉強の出来不出来で、子どもを評価していないか



出典『こどもは話し方で9割かわる』福田健 著

冬休み 学校、家庭、地域が 手を結び、子どもたちを育てましょう！



12月23日（金）から1月9日（月）まで、子どもたちが楽しみにしていた冬休みになります。学校では、地域子ども会や学級で冬休みの生活について指導をしました。御家庭でも、下記のことについてぜひ話し合わせてみてください。



○子どもの実態をよくみて、子どもの話をよく聞き、冬休みの過ごし方を一緒に考える。

○家族に見守られながら、自分で計画を立て自主的・自律的に生活する態度を育てる。

○家庭における役割を自覚し、その役割を果たすことによって家族の一員として力を合わせ、生活をよりよいものにしていこうとする態度を育てる。

○地域の行事に進んで参加させたり、計画を立てさせたりしながら、子どもたちを見守り、地域を愛する心や社会性を育てる。気持ちのよいあいさつができる子どもにする。

※残念ながら、自転車や飛び出しによる交通事故が今学期、起こってしまいました。また、五日市橋の開通にともない朝夕の交通量や車両の流れも変わっています。「これまでは大丈夫だったから」の油断が思わぬ事故に結びつきます。外に遊びに出る前、「気を付けて」などの一言をお願いいたします。



お 知 ら せ

○諏訪町在住の、岩澤登三様御遺族よりこのたび10万円の図書が寄贈がありました。3学期より貸し出しができるように準備しています。ありがとうございました。

1 月 の 行 事 予 定

- 1 日（日） 元日
- 1 0 日（火） 始業式、冬の集団下校指導
- 1 1 日（水） 給食開始
- 1 3 日（金） 5年生スキー授業①
- 1 8 日（水） 校内書き初め展～31日

※今年度は1月に学習参観がありませんので、御都合の良い時間に見に来てください。

- 2 3 日（月） 給食週間
- 2 7 日（金） 4年生スキー授業①



- ※ 諸費口座振替日は、毎月10日です。年度末に向かって確実に引き落としができますようお願いします。
- ※ 降雪期になり、交通事故に対する注意や民家の落雪、流雪溝等の事故が起こらないよう危ない場所について御家庭でも確認をお願いします。また、御来校の際には体育館の落雪に十分注意してください。
- ※ 冬季にかかわらず、児童のお迎えの時に学校周辺の民家の駐車場に自家用車を止めて困るとい連絡が時々入ります。また、朝の登校時に鉛筆地下道のそばで降車させる時に後続車両が追突しそうになるなど危険な事もあります。マナーを守るとともに交通事故には十分気を付けてください。